

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)									
事業実施地区名 (都道府県名)	きたかみがわらゆうりゆう 北上川中流森林計画区 (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 岩手南部森林管理署遠野支署									
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、岩手県南西部に位置する北上川中流森林計画区内の国有林野 36,368haである。</p> <p>当計画区は早池峰山南面を含む北上高地中央南部にあり、東部は北上高地 900m前後、西部は飛竜山等の600m以下の山々囲まれており、猿ヶ石川が北上川に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の38%がブナ類の広葉樹天然林、62%が、スギ、カラマツを主とした人工林となっている。</p> <p>当計画区内は優れた自然環境を有する地域であり、特産種や希少種が数多く生育している早池峰山周辺は、「早池峰国定公園」、「早池峰山周辺森林生態系保護地域」、「北上高地緑の回廊」に設定されているとともに、猿屋裏湿原植物群落保護林等、各種保護林に指定されている。</p> <p>これらの地域は、史跡、名勝と一体となって自然景観や歴史的風致を構成している森林であり、登山、湖沼・高原散策のほか民俗学観光施設が整っているとともに、内陸部と沿岸部の各交通のアクセスが良好なことから、花巻市、釜石市等、都市部からの森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して従来より特産樹種等を生かした木材加工業が発達しており、沿岸地区に東日本大震災復興資材供給する地域としての重要な役割を担っている。さらに、キノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっており、穀倉地帯の上流に位置する森林は用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、カラマツの評価が高く、国有林においてもカラマツの供給を通じた産業振興に寄与することが期待できること及び、自然のダムと炭素貯蔵の役割をしており、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減に貢献し、低炭素社会の構築に寄与するとともに木材生産と公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては、地域の要請に応えるとともに森林の有する機能発揮、低炭素化社会、地元優良国産材の需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な整備、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>589ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>7,573ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>35.3km</td> </tr> </table> <p>総事業費 2,615,415千円</p>			森林整備	更新面積	589ha		保育面積	7,573ha	路網整備	開設延長	35.3km
森林整備	更新面積	589ha										
	保育面積	7,573ha										
路網整備	開設延長	35.3km										
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>19,714,226千円</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>3,062,802千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>6.44</td> </tr> </table>			総便益(B)	19,714,226千円	総費用(C)	3,062,802千円	分析結果(B/C)	6.44			
総便益(B)	19,714,226千円											
総費用(C)	3,062,802千円											
分析結果(B/C)	6.44											
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 低炭素社会の構築や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮、地元特産材(カラマツ)や民俗学施設と一体となった国有林内景勝地での振興、木材の安定供給等地域の要請に応えるため本事業の実施が必要である。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林整備

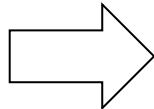
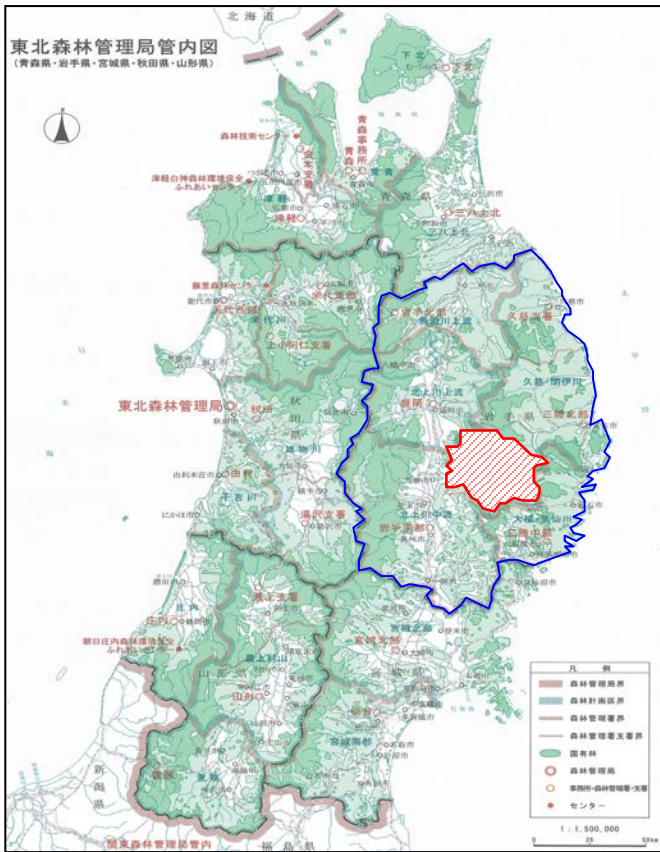
都道府県名：岩手

施行箇所：北上川中流森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,097,984	
	流域貯水便益	1,164,892	
	水質浄化便益	2,465,847	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,423,475	
環境保全便益	炭素固定便益	1,630,356	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	12,633	
	木材利用増進便益	11,230	
	木材生産確保・増進便益	1,366,459	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	3,351	
	森林整備促進便益	1,537,999	
総 便 益 (B)		19,714,226	
総 費 用 (C)		3,062,802	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{19,714,226}{3,062,802} = 6.44$		

森林環境保全整備事業 北上川中流森林計画区(岩手県) 事業概要図



対象計画区拡大図

